



多摩府中保健所感染症週報

令和7年第11週（3月10日～3月16日）

今週の傾向（定点医療機関当たり報告数で表示）令和7年3月21日時点

- 新型コロナウイルス感染症の報告数は減少しています。
（多摩府中 10週 2.97→11週 2.85 東京都 10週 2.80→11週 2.71）
- インフルエンザの報告数は増加しています。
（多摩府中 10週 2.94→11週 3.39 東京都 10週 1.84→11週 2.07）
- 感染性胃腸炎の報告数は高い値で推移しています。
（多摩府中 10週 12.90→11週 12.52 東京都 10週 12.72→11週 12.59）
- 水痘の報告数は増加し、多摩府中管内では注意報レベルに達しました。
（多摩府中 10週 0.62→11週 1.81 東京都 10週 0.39→11週 0.55）

管内の集団感染の状況

施設	疾患	今週の報告件数
学校・教育機関	インフルエンザ 感染性胃腸炎	5件 1件
児童福祉施設	感染性胃腸炎	3件
高齢者福祉施設	感染性胃腸炎	2件
障害者福祉施設	-	-
医療機関	新型コロナウイルス感染症	1件

施設などで感染症の集団感染が発生した場合は保健所へご報告ください。

〈報告の目安〉

- 1 同一の感染症もしくは食中毒による、またはそれらによると疑われる死亡者、または重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- 2 同一の感染症もしくは食中毒の患者またはそれらが疑われる者が10名以上または全利用者の半数以上発生した場合
- 3 上記1、2に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

いずれの項目にも該当しなくても、対応にお困りのときは、感染症対策担当へご連絡ください。

★注目すべき感染症★

結核

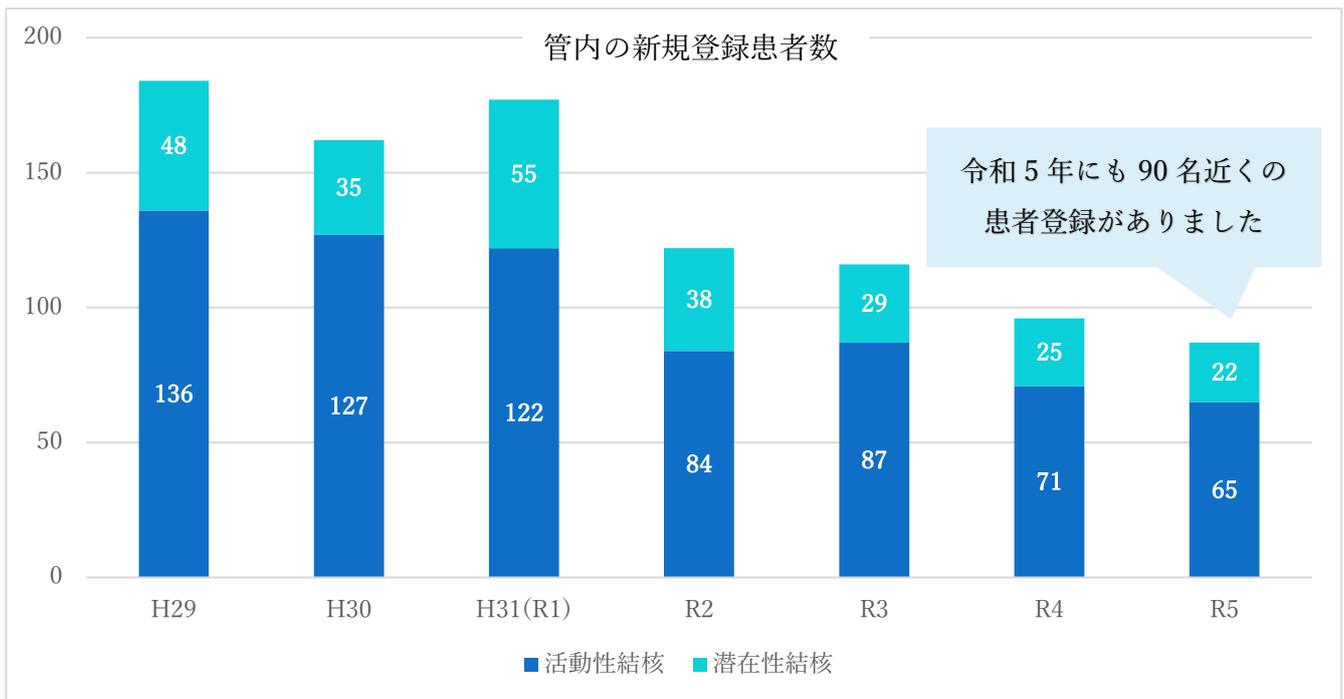
3/24は世界結核デー

3月24日は世界結核デーです。

1882年のこの日、細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表しました。

結核の発生は全国的に減少傾向ですが、現在も年間1万人以上の方が結核を発病しています。

結核は過去の病気ではありません。



活動性結核：結核の治療を要する者 潜在性結核：結核の無症状病原体保持者でかつ結核治療が必要と認められる者

早期発見・早期治療のために

年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう

咳、痰、微熱などが2週間以上続くときは受診をしましょう



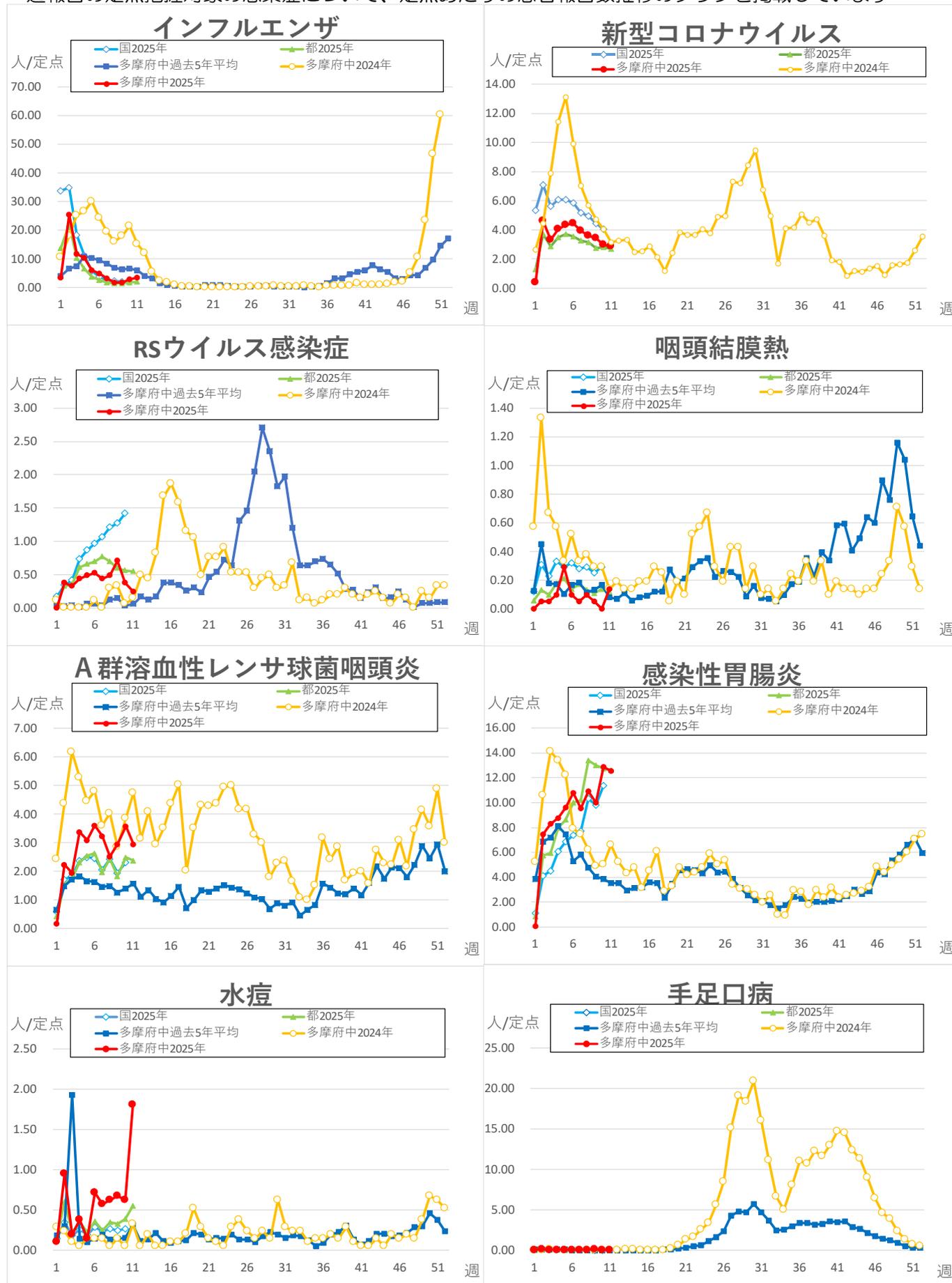
結核治療について

結核は適切に治療をすれば、治る病気です。

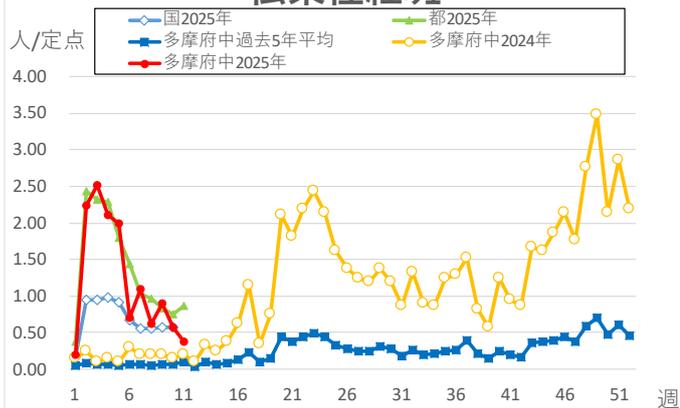


定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

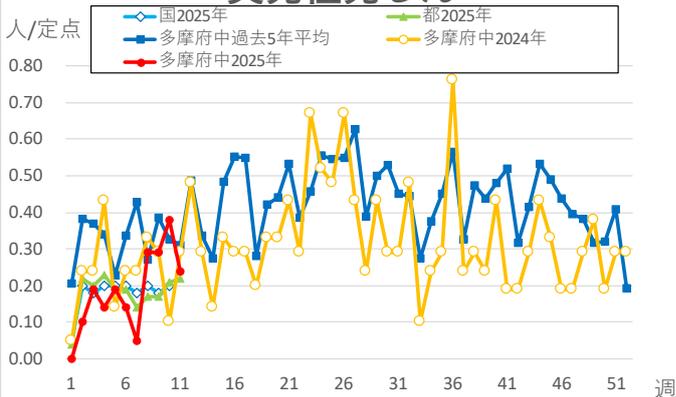
・週報告の定点把握対象の感染症について、定点あたりの患者報告数推移のグラフを掲載しています



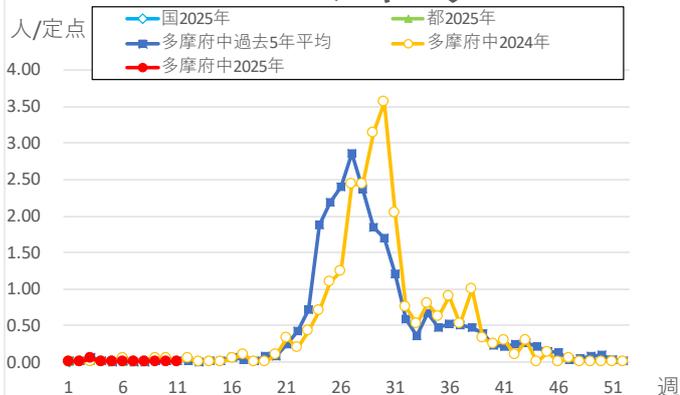
伝染性紅斑



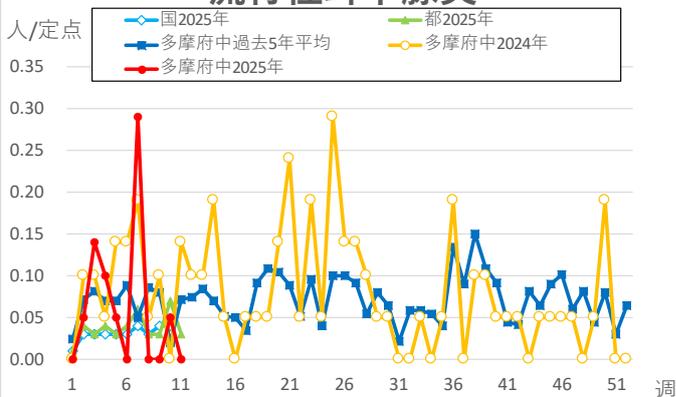
突発性発しん



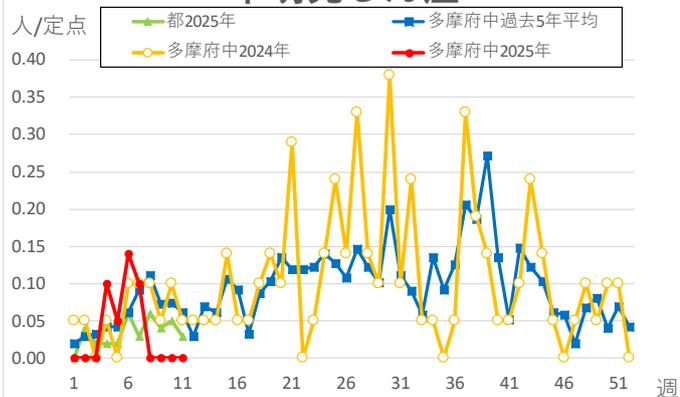
ヘルパンギーナ



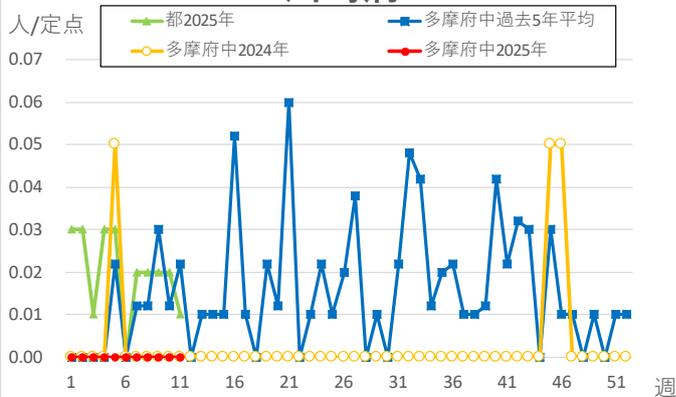
流行性耳下腺炎



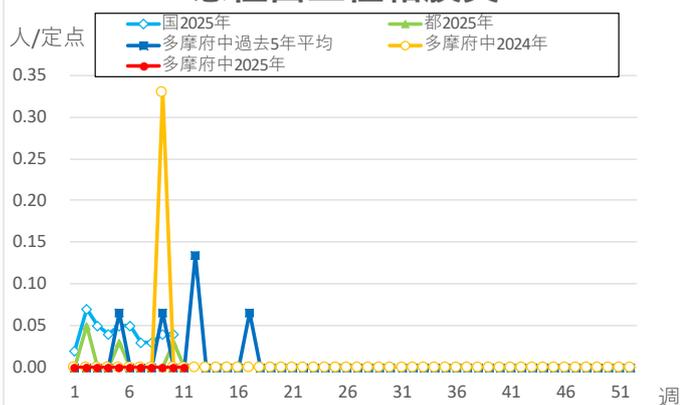
不明発しん症



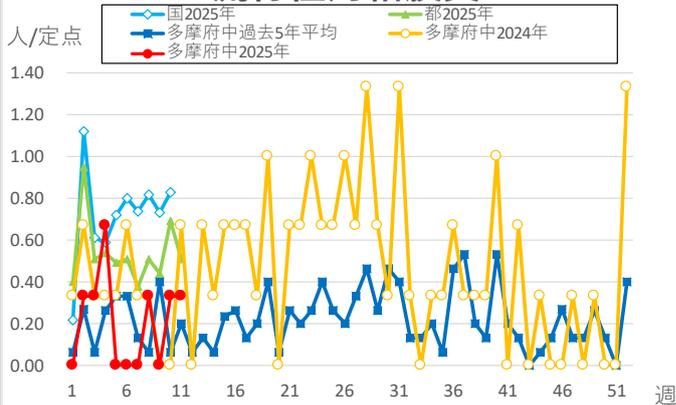
川崎病



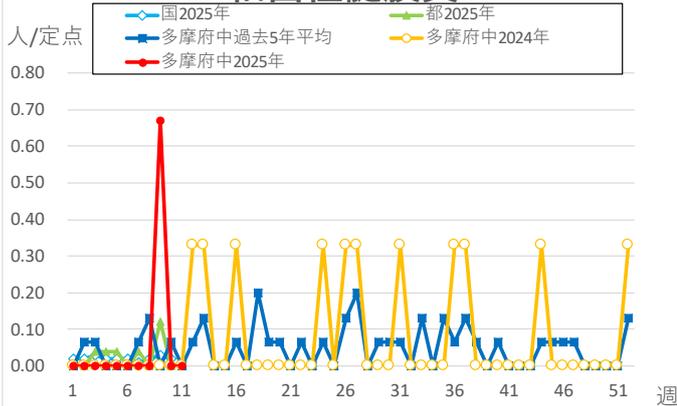
急性出血性結膜炎



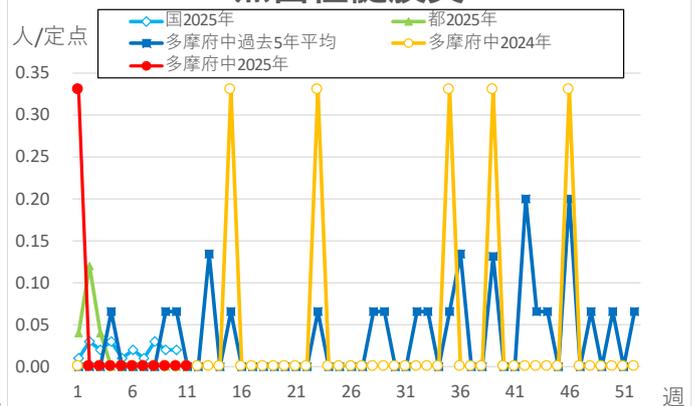
流行性角結膜炎



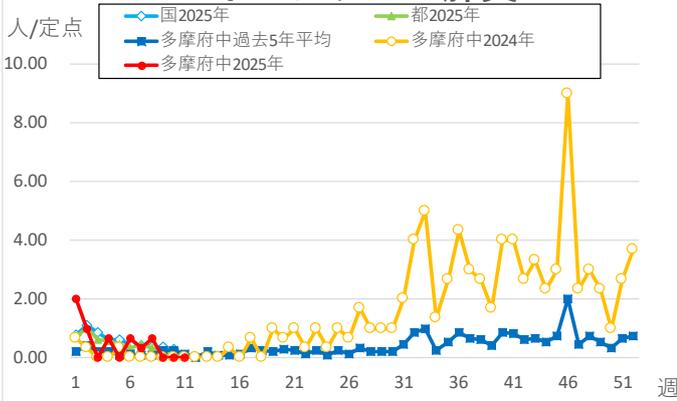
細菌性髄膜炎



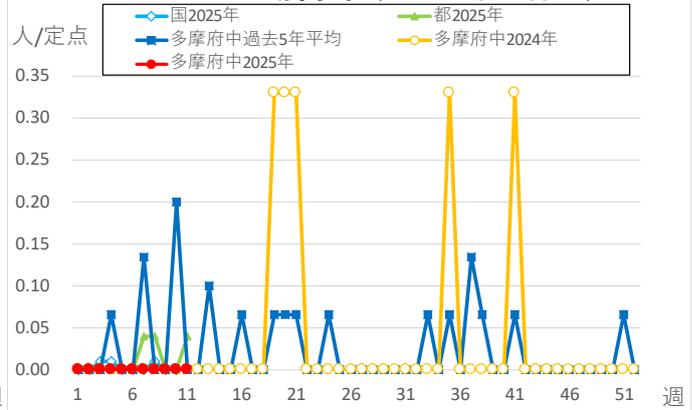
無菌性髄膜炎



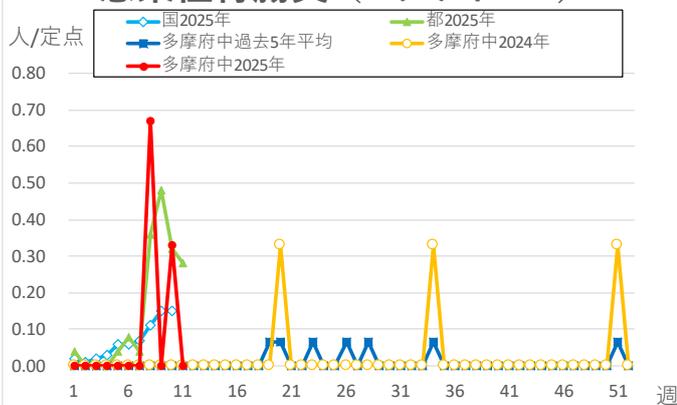
マイコプラズマ肺炎



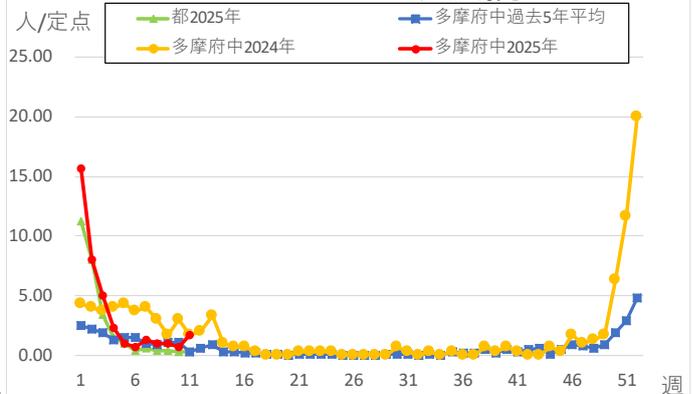
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



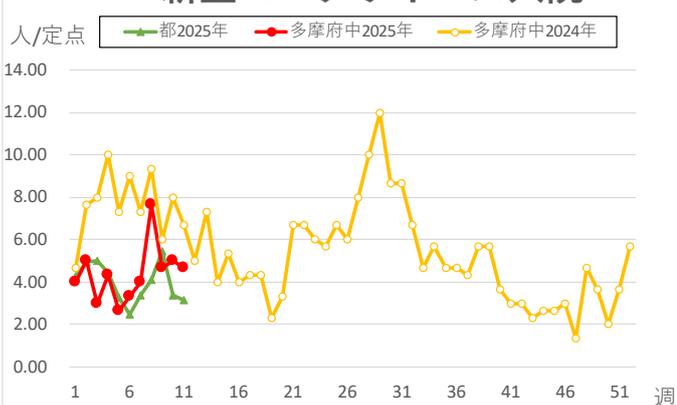
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)



インフルエンザ入院



新型コロナウイルス入院



※本グラフは感染症の発生動向の概要をお伝えするため、下の出典の最新週のデータを追加して作成しています。過去のデータの修正は反映されておりませんので、より正確なデータについては出典元をご覧ください。国のデータは1週間遅れで掲載しております。

<出典>東京都、多摩府中のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>より WEB 感染症発生動向調査

国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

多摩府中保健所 保健対策課
感染症対策担当
Tel : 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報